

健康まつりに4000人

5月20日（日）、厚生会友の会主催の第31回健康まつりがJR高田駅前広場と産業会館で開かれました。健康と医療に関するミニ講演や相談コーナー、体力測定や健康チェックなどは大変な賑わい、このまつりが健康をまもる一大イベントとして地域の人たちに期待されているのですね。

新幹線を模したミニ列車などのこどもの広場、地域支部やサークルの模擬店なども人があふれていました。

読みどころ多い「いつでも元気」8月号（保険医療研究所発行・月刊・一冊380円）

4ページからの特集は沖縄・石垣島での共同組織（友の会と同義）支部結成の記事。石垣島には昨夏、読者有志の皆さんと一緒に行きましたね。サガリバナの美しさがまだ目に焼き付いています。あ



の時案内してくれた中尾君（松尾の高校同窓生）に支部ができたことを知らせなければ。

12ページからの「家族に賠償責任？ 認知症鉄道事故裁判」は、興味深く身につまされる思いで読み、勉強になりました。22ページの「スポーツドリンク・・・」は登山する人は必読。

怒りを押し殺しながら読んだのは「ひょうたん島便り」（29P）。6月18日の関西大地震の日、災害対応優先を、との野党側要請を蹴って、政府・与党は委員会審議を強行。その後の顛末をも含めて、「独裁者の振るまい」と筆者は厳しく指摘したが、実はこの記事の続きかと思われる事態が朝日新聞7月14日号3面で特集されています。死者200人以上、家屋被害3万棟超の豪雨大災害が始まった7月5日、気象庁は広い範囲で避難を呼びかけ、夜には11万人に避難指示が出された。ところがこの夜自民党は国会議員宿舎で宴会を開き、避難指示を出した政府首脳（安倍首相、小此木防災相、小野寺防衛相など）ら40数名が出席、複数の自民議員が自身のツイッターに宴会画像を掲載、おまけに西村官房副長官は同夜「地元の雨は山を越えた」と誤報すら発信したとの事。国民不在・傲岸不遜の政治ここに極まれり ですね。 朝日記事もご一読を。

センダン（梅檀）センダン科センダン属
5月當麻寺奥の院裏で（記事とは無関係）
私を通った長崎市内の小学校校庭に植えてあった。「梅檀は双葉より芳し」のことわざと併せて教わったが、ことわざの樹は別種のビャクダンのことらしい。

続・続 二上山に咲く花々 1

アオキ（青木） ミズキ科（ガリア科説も）アオキ属
花言葉は「若くて美しい」 花期は3～5月

花の写真は澤木仁さん

林下に普通に自生する高さ1～3mの常緑低木。雌雄異株。大きくて光沢のある濃緑の葉と赤い楕円球形の実はともに美しく、冬の山の貴重ないりどりです。若い幹が緑なのが名前の由来。





様々な園芸品種が作られ、庭木としてよく植えられていますし、葉はあぶって腫物、切り傷、火傷の患部に貼って治療に使います。また奈良県天川村洞川の民間薬・陀羅尼助の原料の一つ。なお蕾や新芽は天ぷらにしたり、お浸しなどで食用とされるなど、日本人の生活と深くかかわってきた植物です。

世界で愛される日本発のアオキ

アオキは、日本原産ですが世界的にも愛されているそうです。

↑アオキの実（写真は松尾）
17世紀頃からヨーロッパの支配層の間で一大植物ブームがおこり、プラントハンターと呼ばれる採集専門家が世界中を歩き回って新種、珍種を集めました。日本では長崎の医師・シーボルトなどもプラントハンターとしての役割を果たしていますが、鎖国政策が解けた江戸時代末期、ロバート・フォーチュンが日本に来て、日本の植物を物色します。そして江戸庶民に愛されるアオキを1783年イギリスに持ち帰りますが、雄木だけだったので、実が出来ず、数年後わざわざ雌木を取りに来て、その結果ヨーロッパでもアオキの葉と実、そして様々に改良された園芸品種を楽しむことが出来るようになったそうです。

続・続 二上山に咲く花々 2

クズ(葛) マメ科 クズ属

写真は澤木仁さん

この花を見たことがない人は少ないのではないのでしょうか。野山はもちろん住宅近くのため池の土手や空き地でも他の植物やフェンスに巻き付き、覆い隠して生い茂ります。

秋の七草のひとつ。花をめでもよりも食用として重用されたほか、薬用、工作用、家畜飼料など大昔から人間に活用されてきました。

食料として活用

くず粉、葛切り、葛餅など用途は多様で、つる先や花を天ぷらにするなど、飢饉の際の救荒植物としても利用されてきました。

家畜の飼料として

農家では、牛、馬、やぎ、うさぎなどに食べさせたようで、アメリカでも日本から移入しましたが、飼料にしなくなると旺盛な繁殖力が嫌われて、有害植物、侵略的外来種として駆除の対象になっているようです。クズがかわいそうですが、あのすさまじい繁茂の様子を見ると、領かざるを得ないなと思うのです。

葛根湯にはお世話になっています

薬の原料としても名高く、私も葛根湯（かっこんとう）にはお世話になりました。近年宮崎大学がクズからエタノールを抽出することに成功したようです。

